

生物科学学会連合 第11回定例会議 議事録

日時：2015年3月7日（土）14:00～16:00

場所：東京大学理学部2号館2階223号室（東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内）

出欠状況：

出席（加盟団体）：

運営委員

中野 明彦（生科連2015-2016代表）

浅島 誠 宮島 篤 入江 賢児 石野 史敏

団体代表

吉田 丈人（個体群生態学会）

東原 和成*（日本味と匂学会）

菱田 卓（日本遺伝学会）

高橋 秀幸（日本宇宙生物科学会）

仲嶋 一範*（日本解剖学会）

後藤 聡（日本細胞生物学会）

深田 吉孝（日本時間生物学会）

浦野 徹（日本実験動物学会）

綿野 泰行（日本植物学会）

酒井 敦（日本植物形態学会）

坂本 亘（日本植物生理学会）

寺井 洋平（日本進化学会）

仲嶋 一範*（日本神経化学会）

和田 圭司（日本神経科学学会）

大野 茂男（日本生化学会）

都築 功（日本生物教育学会）

有坂 文雄（日本生物物理学会）

小西 真人（日本生理学会）

河田 康志（日本蛋白質科学会）

小柴 和子（日本発生生物学会）

関 洋一（日本比較生理生化学会）

竹井 祥郎（日本比較内分泌学会）

西澤 智康（日本微生物生態学会）

本間美和子（日本分子生物学会）

（計24団体）

欠席（加盟団体）：日本生態学会、日本動物学会、日本分類学会連合、日本免疫学会
日本薬理学会

（計5団体）

（加盟合計29団体）

出席（委員会）：

小林 武彦（ポスドク問題検討委員長）

出席（日本学術会議）：

本間 さと（基礎医学委員長）

福田 裕穂（基礎生物学委員長）

出席（オブザーバー）：

東原 和成*（日本農芸化学会）

（計1団体）

（敬称略、団体名50音順）

事務局 中西 秀彦 村田 英樹

議題・報告：

1. 新代表挨拶

中野明彦新代表より挨拶があり、代表就任に当たり今後の抱負が述べられた。

2. 前回議事録の承認

第 10 回定例会議の議事録案が確認され、承認された。

3. 日本植物形態学会の入会について

今年度より入会した日本植物形態学会の酒井敦氏より、入会に当たり挨拶が述べられ、日本植物形態学会の概要などについて説明がなされた。

4. 運営規約の変更について

中野代表より、現行の規約によると運営委員は会員の互選で選出されることとなっており、1 月に代表に就任後、今回の定例会議まで運営委員が選任できないことになり、会務の遂行に支障をきたす恐れがあるとの説明がなされ、以下のような規約変更案が提案された。協議の結果、原案通り承認された。

現行

第 7 条 本連合には、本連合の迅速な意志決定を行うために、代表の諮問に応ずる運営委員会を置く。運営委員会は代表・副代表を含め 6 名以内の運営委員により構成し、運営委員は会員の互選により選出されるものとする。運営委員の任期は 2 年とする。ただし代表任期の途中で新たに運営委員が選出された場合、その任期満了は代表に準じるものとする。

変更案

第 7 条 本連合には、本連合の迅速な意志決定を行うために、代表の諮問に応ずる運営委員会を置く。運営委員会は代表・副代表を含め 6 名以内の運営委員により構成し、運営委員は代表が推薦し、会議で承認されるものとする。運営委員の任期は 2 年とする。ただし代表任期の途中で新たに運営委員が選出された場合、その任期満了は代表に準じるものとする。

(下線部が変更箇所)

5. 副代表、運営委員の選任について

中野代表より、平成 27～28 年度副代表候補として、浅島誠氏ならびに宮島篤氏が推薦され、審議の結果、原案通り承認された。

引き続き中野代表より、平成 27～28 年度運営委員候補として、入江賢児氏ならびに石野史敏氏が推薦され、協議の結果、原案通り承認された。

6. 会計監査委員の選任について

中野代表より、平成 27～28 年度会計監査委員候補として、深田吉孝氏ならびに渡邊雄一郎氏が推薦され、協議の結果、原案通り承認された。

7. 平成 26 年度会計報告について

事務局より、平成 26 年度会計について報告がなされ、ほぼ予算額通りの決算状況となり、当期収支差額が約 20 万円の黒字決算であった旨の説明がなされた。

また、会計監査は 6 月～7 月頃に受ける予定である旨報告がなされた。

協議の結果、平成 26 年度会計報告は異議なく承認された。

8. 平成 27 年度予算案について

事務局より、平成 27 年度予算案は第 10 回定例会議で承認されているが、その後の日本植物形態学会入会に伴う収入増や、平成 26 年度会計報告に伴う繰越金の確定、支出における活動費の増額など、若干の変更を加えた平成 27 年度補正予算案について改めて説明がなされ、協議の結果、原案通り承認された。

9. IUBS（国際生物学連合）について

特段の報告事項はなかった。

10. IBO・JBO（国際生物学オリンピック）について

都築国際生物学オリンピック日本委員会委員（本生物教育学会副会長）より、国際生物学オリンピックインドネシア大会（IBO2014）における成果、2015 年に開催されるデンマーク大会や 2016 年に開催されるベトナム大会への取り組み状況について説明がなされた。

また、2020 年には日本で開催される予定である旨報告がなされた。

引き続き浅島副代表より、現在は生物を含む科学オリンピックが 7 種類あるが、今後は文部科学省がすべてを所管することとなった旨、また日本の科学教育の現状などについて補足説明がなされた。

11. 教科書問題検討委員会について

都築日本生物教育学会副会長より、教科書問題検討委員会の活動について報告があり、用語の整理を行っているが進んでいる分野とそうでない分野があるとの説明がなされた。

引き続き中野代表より、現状はやや収拾がつかなくなっている状況なので、定着している用語はそのままとし、混乱しているものをまとめる方向で、一旦運営委員会で検討したいとの提案があり、了承された。

12. ポスドク問題検討委員会について

小林委員長より、前回の定例会議の際に報告した冊子「生科連からの〈重要なお願ひ〉生物科学学会連合より行政（国、地方）、企業、大学・研究機関、および研究者コミュニティーに対するお願ひ」を、本年 1 月に文部科学省研究振興局ライフサイエンス課の堀内義規課長ならびに馬場大輔課長補佐、学術機関課の木村直樹課長、および科学技術・学術振興局の川上伸昭局長に手交して、趣旨の説明とともに施策への反映を訴えた旨の報告がなされた。

また、その後文言の訂正箇所指摘や新しいデータへの更新などに伴い、一部の文言を修正した改訂版を出来るだけ早期に出したいとの説明がなされた。引き続き中野代表より、少しずつ状況は変化してきているが、生科連としても継続的活動が必要との認識が示された。

13. 日本学術会議関連報告

本間日本学術会議基礎医学委員長より挨拶があり、現在、不正研究や研究倫理などについて検討を行っているとの説明がなされた。

引き続き福田日本学術会議基礎生物学委員長より挨拶があり、分科会で活動

した成果をまとめていく予定であるとの説明がなされた。

1 4. その他

都築日本生物教育学会副会長より、次期教育課程に向けての日本生物教育学会の取り組みについて説明がなされた。

また、2016年11月に沖縄で開催される第22回国際動物学会、第87回日本動物学会合同大会のパンフレットが披露された。

中野代表より、次回の定例会議開催日については、2015年10月3日（土）あるいは10月24日（土）を予定しているが、何れの期日になるかは決定次第、各加盟団体宛に連絡がなされる旨の提案がなされ、了承された。

以上